

令和4年度

三沢市教育委員会  
会議録

6月定例会

## 三沢市教育委員会 令和4年度 6月定例会

1 日 時 令和4年6月28日(火) 14時00分 開会  
15時40分 閉会

2 場 所 三沢市役所 本館4階 第2会議室

3 出席委員

|     |        |
|-----|--------|
| 教育長 | 山内 康之  |
| 委員  | 立花 肇   |
| 委員  | 黒沢 のぞみ |
| 委員  | 本江 宏   |
| 委員  | 松森 まゆみ |

4 出席職員

|                     |        |
|---------------------|--------|
| 教育部長                | 立崎 裕輔  |
| 教育総務課 参事兼課長         | 岡部 章典  |
| 教育総務課 副参事兼課長補佐兼施設係長 | 池田 修   |
| 学務課 課長              | 村上 輝仁  |
| 学務課 課長補佐兼学務係長       | 浪岡 さゆり |
| 学校教育課 課長            | 藤田 文明  |
| 学校教育課 課長補佐          | 松坂 進   |
| 生涯学習課 課長            | 山本 京子  |
| 生涯学習課 課長補佐兼生涯学習係長   | 柿崎 竜平  |
| 学校給食センター 所長         | 石井 聰   |
| 学校給食センター 所長補佐兼施設係長  | 宮古 順一  |
| 教育総務課 副参事兼課長補佐(書記)  | 和久 美登里 |
| 教育総務課 教育総務係長        | 宮木 ひと美 |

5 傍聴者 1名

6 議事日程 別紙のとおり

**【別紙】**

三沢市教育委員会 令和4年度6月定例会 議事日程

開会

第1 会議録署名委員の指名

第2 会期の決定

第3 前回会議録の承認

第4 議事案件

議案第1号 令和4年度三沢市奨学資金貸付申請者の選考について

議案第2号 令和4年度三沢市文化賞等表彰者提案及び社会教育委員への諮問について

第5 報告案件

報告第3号 令和4年三沢市議会第2回定例会について

第6 その他

閉会

## 開会 10時00分

### ○開会

#### ■山内教育長

ただ今から、令和4年度6月定例教育委員会を開会いたします。それでは、お手元に配付してある議事日程により、会議を進めます。

### ○日程第1 会議録署名委員の指名

#### ■山内教育長

会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、本江委員と松森委員を指名いたします。よろしくお願ひいたします。

### ○日程第2 会期の決定

#### ■山内教育長

会期についてお諮りいたします。

会期は、本日28日の1日でよろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

それでは、本日の1日といたします。

### ○日程第3 前回会議録の承認

#### ■山内教育長

前回、会議録の承認について、お諮りいたします。前回の会議録は、お手元に配付しておりますが、会議録のとおり承認としてよろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

ご異議ございませんので、承認といたします。

### ○日程第4 議事案件

#### ■山内教育長

続いて、議事案件に移ります。

議案第1号 令和4年度 三沢市奨学資金貸付申請者の選考についての議案は、個人情報が含まれる案件でありますので、先例により、非公開として別室審議といたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

ご異議ございませんので、非公開として別室審議といたします。

#### ■山内教育長

次に、議案第2号 令和4年度三沢市文化賞等表彰者提案及び社会教育委員への諮問についての議案は、個人情報が含まれる案件でありますので、先例により、非公開として別室審議といたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

ご異議ございませんので、非公開として別室審議といたします。

### ○日程第5 報告案件

#### ■山内教育長

続いて、報告案件に移ります。報告第3号 令和4年三沢市議会第2回定例会についてを議題といたします。事務局より説明をお願いします。

#### ■教育部長

報告第3号 令和4年三沢市議会第2回定期会について報告いたします。

私からは、今月6日に開会し17日に閉会しました市議会第2回定期会の教育委員会所管

に係る一般質問と答弁内容についてご報告いたします。今回は4名の議員からの質問に答弁いたしましたので、その概要をご報告いたします。

奥本菜保巳議員の経済問題、一般質問として、「給食費値上げ抑制に国の新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金の原油価格・物価高騰対応分を活用し保護者負担軽減をはかることについて」の質問があり、教育部長からの答弁として「学校給食センターの入札による食材の仕入れ値は昨年から今年にかけ平均で1割ほど上昇しており、現段階では小麦の高騰で値上がりしているパンや麺類の提供回数を減らし、三沢産『まっしぐら』を使用した米飯の回数を増やすなど、安価で優れた地場産食材を活用したメニュー改善により値上げ回避に努めている」と答弁しております。なお、この件に係る奥本議員の再質問として「今後物価高騰がさらに上昇や長期化した場合、他県の自治体で実施しているように国の交付金を活用し給食原材料費の値上げ相当分に充てたり暫定的な無償化分に充ててはどうか」との質問に対する教育部長再答弁として「さらなる物価高騰や長期化並びに多品目に影響が及ぶ事態に備え、国の交付金活用の可能性も検討中であり、今年度内の給食費値上げ改定は手続き上困難なことを踏まえつつ、暫定的無償化への交付金活用にかかる制度上の検討も併せ、年度内での交付金活用が可能かどうか所管部局と協議検討して参りたい」と答弁しております。

次に、小比類巻孝幸議員からは、「ウクライナ避難民の受け入れ体制として、学校の授業など教育環境における言葉の壁の解消に係る対応について」の質問があり、教育長答弁として「当市の小・中学校では過去に、英語以外の言語によるコミュニケーションを要する児童生徒を受け入れた際に、市内団体から通訳できる人材を紹介いただき対応支援した経緯もあつたものの、ウクライナ語に対応できる人材確保

は困難と思われることから、翻訳機の活用のほか、学習支援員の配置による教職員・他の児童生徒との交流や授業でのサポートなどにより、避難民の児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、実情と心情に寄り添い、避難民保護者・学校・教育委員会の三者で共通理解を図りながら、心安らぐ教育環境の提供に努めて参りたい」と答弁しております。なお、この件に係る再質問として「避難民の児童生徒の気持ちに寄り添うべく、フェイストゥフェイスやマンツーマンといった、より心を通わせることができるような体制が必要になると思うが、どのように対応するのか」との質問に対する教育長再答弁として「避難民保護者・学校・教育委員会の三者における共通理解事項として、文化の違いから生じる行動様式や価値観の違いのほか、学習経験及び学習内容の違いへの対応に加え、教職員や在校児童生徒との関わり方などを想定し、心が通じあれば言葉の不足を補えるというスタンスで、避難民保護者の付き添いや見守りも出来るよう、受け入れ体制の共通理解を図り、可能であれば避難民保護者をゲストティーチャーとしてウクライナ文化を紹介いただきながら受け入れ校の児童生徒との交流などにより、避難民児童生徒の不安を和らげることのできる場を効果的に設定していきたいと考えている」と答弁しております。

次に、春日洋子議員からは「ヤングケアラーに対する社会的認知度がまだ低い現状から、その実態把握や具体的支援の取り組みについて」の質問があり、教育長答弁として「当委員会では、令和2年度に厚生労働省の実態調査結果を受け、市内小中学校にヤングケアラーの概念を周知し、定期的なアンケートや個人面談及び保護者との電話相談や家庭訪問などで児童生徒の状態把握に努めつつ、心の悩みに対応してきている。また、スクールカウンセラー派遣や心の教室相談員及びスクールソーシャルワーカーの配置など、教育相談体制強化を図

り、ヤングケアラーに該当する児童生徒の存在が認められる場合には福祉部局と連携して迅速に対応できるよう支援体制を構築しており、今後とも学校・家庭・関係機関等との連携を図り、児童生徒が過度な介護や家事等でかけがえのない時間を奪われることなく公平に学びの機会を保障されるよう、るべき教育環境の確保に努めて参りたい」と答弁しております。なお、この件に係る再質問として「国の予算を活用し講演会や研修実施など、ヤングケアラーの社会的認知度を高める取り組みを行う考えはないか」との質問に対する教育長再答弁として「今後ヤングケアラーへの社会的認知度を高める取り組みとして、豊かな心を育てる生徒指導研究推進協議会を活用し、地域社会並びに関係諸機関や団体との連携による市内児童生徒の豊かな心を育てる施策推進を目的とする当協議会での講演会・研修などによりヤングケアラー周知の機会を設定するほか、福祉部局と連携し広報みさわを通してヤングケアラーの概念を市民に広く啓蒙して参りたい」と答弁しております。

最後に、遠藤泰子議員から文化振興問題として「当市の文化財について」4点の質問があり、まず1点目として「野口貝塚をはじめ市内遺跡やこれまでの発掘出土品等の保存活用に係る現状と今後の方向性について」の質問に対する教育長答弁として「現在、市内で確認されている128の遺跡の大部分は縄文時代に属し、昭和50年代以降から発掘調査や出土品整理と報告書作成を継続しているが、近年では平成29年度からの平畠(3)遺跡発掘調査で市内初の縄文時代中期前半集落跡が検出され、当市の歴史的空白を埋める重要な成果が得られており、併行して平成30年度まで実施された野口貝塚と早稲田(1)貝塚の発掘調査成果報告書作成を進めている。40年以上にわたる発掘調査の出土品は総重量10tを超え、大部分は歴史民俗資料館や織笠団体活動センターに収納して

いるが、一部見学可能で市内小学校児童が見学に訪れているほか、大学等の研究者からの資料調査依頼や県内外の博物館等への貸し出しに随時対応している。今後は、野口貝塚と早稲田(1)貝塚の報告書を刊行後、国史跡指定を受けるべく国の文化審議会に意見の具申を計画しているが、この2遺跡は東北以北では最古級の約8千5百年前の貝塚を伴う極めて重要な遺跡と判明しており、所定の手続きを経て国史跡指定を受けたのちは適切な保存管理により、市内外から多くの方が訪れるような当市が誇る文化遺産の一つになり得ると考えている。加えてこれまでの発掘出土品や記録類について、調査成果報告会等を開催するなど積極的な公開に努め、将来的公開・活用に向けた再整理やデジタルデータ化を進めて参りたい」と答弁しております。次に2点目として、「市が所蔵する国指定重要文化財『南部のさしこ仕事着コレクション』や六川目団体活動センターに収蔵している民具の保存・活用に係る今後の方向性について」の質問に対する教育長答弁として「平成27年に解体された小川原湖民俗博物館から市が寄贈を受けた民俗文化財の総資料数は約1万1千5百点を数え、これらは明治時代から昭和30年代の上北地域や南部地方で暮らした民衆の当時の生活を総合的に理解できる資料群で、民俗学者澁澤敬三氏が提唱した民具学の basic 理念が体現された国内有数の民俗資料として、大阪府の国立民族学博物館と双璧をなす極めて高い学術的価値を併せ持つものととらえ、平成28年からコロナ禍以前までは当市初赴任の教職員研修や一般公開を行っており、期間限定の公開ながら市内外から多くの見学者が訪れ、将来にわたる保存や積極的な公開を望む声が多数寄せられていることから、今後こうした一般公開等を継続しつつ他の博物館等の事例も参考に多角的視点から活用検討・実践に積極的に取り組みつつ、データベース化と共に将来的に国の有形民俗文化財登録を目指すこ

とも検討して参りたい」と答弁しております。次に3点目として、「市内に伝承されている民俗芸能の現状と課題について」の質問に対する教育長答弁として「当市に伝承されている9つの民俗芸能は、県の無形民俗文化財指定が2件、市の無形民俗文化財指定が7件で、三沢市民俗芸能保存会連絡協議会には市内全ての保存会が加盟しており、民俗芸能公演会の継続開催とともに、概ね7年以上活動する高校生以下を対象に後継者感謝状を授与するなど継承に努めているが、担い手減少や後継者不足の課題解決に向け、民俗芸能保存会連絡協議会と情報共有しながら中長期的視点で対応を検討したいと考えている」と答弁しております。最後に4点目として、「教育や観光等、地域振興における文化財活用への取り組みについて」の質問に対する教育長答弁として、「当市には重要な遺跡や多数の出土品、学術的にも価値のある国内有数の民俗資料など、全国的にも誇れる文化財が数多くあり、コロナ禍以前は三沢市文化財講座を開催する都度、市内外から予想以上に多くの方のご参加と積極的な公開への声が多数寄せられており、活用の様々な取組を進め理解を深めていただくことで、児童生徒の郷土愛形成が期待でき、観光資源やPR素材としての活用により地域振興につながるものと考えている一方、文化財の適切な保護・保存と積極的な公開・活用は車の両輪であり、相互に機能することで一層の効果が得られるものの、体制や環境は万全といえず課題解決に向け段階的取り組みを進めて参りたい」と答弁しております。遠藤議員からの総括的な再質問として「野口貝塚と早稲田(1)貝塚が国史跡の指定を受けることになれば世界文化遺産登録に仲間入りの可能性が出てくると思うが、その見解について」との質問への教育長再答弁として「世界文化遺産登録の北海道・北東北の縄文遺跡群の構成資産には、貝塚を伴う縄文時代早期の遺跡がないことや野口・早稲田も世界遺産級の遺跡と評価

する研究者もいることから、こうした点においては将来的に追加登録となる可能性が残されていると思われるが、4道県にある縄文時代の史跡全てが世界遺産ではないことを鑑みると現時点では容易に追加登録に言及することは避けるべきと考えております。まずは野口・早稲田の2遺跡について国の史跡指定を目指し取り組みを進め、またこれまでの発掘調査による出土品等も含め積極的な公開などの活用により、地域における認識や理解を深めたいと考えています」と答弁しております。以上でございます。

### ■山内教育長

ではただ今の報告に対しまして、委員の皆様から、ご質問等ございますでしょうか。

### ■立花委員

あの、ウクライナの避難民受け入れというのは、報道されたところですけど、現在のところはまだないということでしょうか。

### ■教育部長

はい。まだございません。国際交流課が窓口所管になって、全庁で総務、担当課もございますが、そちらにも情報は入っていないと。

### ■山内教育長

他にございますか。それではないようですので、報告第3号、令和4年三沢市議会第2回定期会についての報告は終わりといたします。

## ○日程第5 その他

### ■山内教育長

続いて、その他に移ります。

委員の皆様にお知らせする事項をお手元に配付しておりますので、教育総務課からお願ひいたします。

### ■教育総務課長

それでは、教育総務課から、その他の報告事項についてご説明いたします。一点目、令和4年度教育委員による学校訪問の日程についてですが、訪問期間、令和4年6月22日、6月27日、7月6日、7月11日の4日間で実施でございます。訪問内容につきましては、校内の視察及び懇談を行っております。日程の詳細につきましては別添の学校訪問日程表のとおりでございます。次に2点目、コロナ感染防止対策用品購入資金の寄付についてでございますが、匿名を希望する市内民間事業者より、コロナ禍における感染防市対策用品の購入資金として、6月1日、水曜日に12万円を寄附していただきました。この寄付金につきましては、9月に諸手続きを済ませた上で、市内小中学校へ配分する予定となっております。教育総務課からは以上でございます。

### ■学務課長

学務課はございません。

### ■学校教育課長

学校教育課からは3つ報告いたします。資料の1ページをご覧ください。まずは「令和4年度第1回みさわくわくサマーゼミナール」についてです。先日の土曜日、第1回のゼミを実施済みでございます。そこにあるとおり、第一講座として「みんなでさがそうわくわくを！～みさわくわく学習で新発見！」と題して、三沢小学校の見友さんから、第2講座で「図書館を活用した調べる学習の進め方」と題して、市立図書館の富田さんと大久保さんから、講座の3つ目として「教えて！自由研究のススメかた」と題して、県立三沢航空科学館インストラクターの盛田さんから講義いただきました。このあと、2ページをご覧ください。参加23名の児童は2つのコースに分かれて実際の調べ学

習を行っていることになります。「科学館コース」は7月25日、月曜日実施いたします。資料の3ページをご覧ください。「図書館コース」は8月5日の金曜日に実施いたします。それぞれの施設のスタッフの方と学校教育課の職員が支援しながら調べ学習を進めていくことになります。6月25日に第1回を実施したのですが、全員の子供たちから「とても勉強になった。楽しかった。」というアンケートをいただいております。また参観していた保護者の方からも「とてもよい機会だと思う。」「これからもぜひ継続してほしい。」という要望が聞かれました。以上がわくわくサマーゼミナールについてです。資料の4ページをご覧ください。「令和4年度三沢市英語教育推進事業、三沢市小学生イングリッシュデイ」についてです。実施日は7月22日の金曜日、対象は三沢市内の小学6年生40名を予定しております。今募集中で人数は確定しておりません。今年度の内容ですが、昨年度は英語を使ったゲーム等をしましたが、今年度は新たに三沢基地内の施設見学を組み入れて実施いたします。資料の5ページをご覧ください。続きまして、令和4年度三沢市英語教育推進事業、中学生のイングリッシュキャンプです。これは昨年度、一昨年度はコロナの影響を得まして、1日日程で実施いたしました。それまでは3日日程で宿泊を伴って実施してまいりました。今年度はコロナ後を見据えて2日日程で実施いたします。例年実施している英会話練習等に含めて、中学生の方も三沢基地の中に入って、実際に司令官、パイロットの方へのインタビュー活動を実施してまいります。こちらも今募集中で人数はまだ確定しておりません。学校教育課からは以上になります。

### ■生涯学習課長

生涯学習課は特にございません。

### ■学校給食センター所長

学校給食センターから、2件、口頭で報告させていただきます。まず、1件目ですが、三沢市学校給食センター運営審議会委員の選任についてでございます。現在の審議会委員は、令和3年4月1日から令和5年3月31日までの、2年任期をもって、構成されておりますが、退職に伴い、1名を新たに選任するものであります。選任区分は、三沢市学校給食センター条例および施行規則により、三沢市立小・中学校の校長から3名、三沢市立小・中学校の児童・生徒の保護者から2名、医療保健関係者から2名、学識経験者から3名となっておりますが、この中の、小・中学校校長区分は、三沢小学校・第二中学校・第三中学校にお願いしておりますが、今年4月、奈良岡第二中学校校長はお変わりございませんでしたが、第三中学校校長の木村氏が退職なされ、その第三中学校校長に桐原三沢小学校校長が異動したことに伴い、新たに、三沢小学校校長になられた、江渡俊晴氏を、委員として選任いたしましたことをご報告いたします。その他の委員につきましては、お手元にお配りしております、委員名簿をご覧いただければと思います。次に、2件目の報告でございます。学校給食センターの緊急事態用として保存しております、非常食のレトルトカレーとご飯が今年度中に5年ほどの賞味期限が切れますことから買い替えを行います。そこで、その期限間近の非常食を、防災週間期間中であります9月5日、月曜日に市内小中学校に給食として提供し食していただくことで、災害に備えることの大切さを考えてもらう日にしていただきたいと考えております。なお、この件に関しましては、校長会・教頭会でも順次報告させていただきます。また本日その実物をお持ちしております。こちらがカレーとご飯になりますけれども、当日は保温して温かい状態で提供したいと考えおりましたので、よろしくお願ひいたします。以上でございます。

### ■山内教育長

ただ今のその他の報告事項に対しまして、委員の皆様からご質問等ございましたらお願ひいたします。

### ■本江委員

イングリッシュデイ、40人、80人とありますけれども、多少多くなり45人、50人と追加できるものですか。

### ■学校教育課長

イングリッシュの方ですが、過去3年の推移をみると元年が39人、2年、3年とコロナの影響で20名、17名となっています。今回定員を設けていますが、多少は対応できるようにしたいなと思います。多い場合は、特にイングリッシュキャンプの方はコロナの前は応募者が多くて抽選をしていただいていました。若干名であればという、はい。

### ■本江委員

わかりました。できるだけ多くの子供たちに参加をさせたいなあと思います。よろしくお願ひいたします。以上です。

### ■黒沢委員

みさわわくわくサマーキャンプ、計23名と報告いただきましたけれども、募集は何名だったのでしょうか。

### ■学校教育課長

後ほど確認してお知らせいたします。

### ■黒沢委員

質問の趣旨としましては、もし募集に満たなかつたという現象で、募集人数に満たないという現象であるならば、その募集人数に到達すべき何か努力など、方向性を次に生かしていただきたいなと思い、その計画をお聞きしたいなど

思って質問いたしました。

### ■立花委員

給食は何食分なんでしょう。

### ■給食センター所長

まず、現在残りの数からお話をさせていただきますと、カレーの残が3,810食、ご飯の残が3,780食残っている現状であります。小小中学校に提供した場合、6月5日現在の数字ですけども、小学校が1,971食、中学校が998食、教職員340食、あとセンターの職員42食、3,351食がとなっておりまして、みな提供した場合でもあと400、500は残るような状況でしたので、それはまた違う形で利用していきたいと考えております。以上です。

### ■松森委員

質問ではないのですけれど、イングリッシュキャンプ、コロナ前は2泊ということで、今年は1泊できるということで、コロナの状況に合わせて色々考えてくださり、大変ありがたいなと、あと内容もすごい楽しそうだなあと思って、三沢市の英語力が高いのはこういう企画があるからかなあと思ってありがたく感じておりました。これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

### ■学校教育課長

今年、二日日程でやるんですが、宿泊は残念ながら、まだコロナが心配されるので。

### ■山内教育長

その他、ご質問等ございませんか。

(「なし。」と声あり)

ただ今の、他の報告事項につきましてないようですので、その他については終わりとさ

せていただきます。最後に委員の皆様から委員会事業等について確認したいことやご意見、ご感想等をお願いいたします。

### ■松森委員

資料にもありますように、先週から学校訪問に参加させております。経営方針とか教育目標とか、感じたことは子供たちに勉強を教えるという仕事のほかに、コロナ対策とか、不登校のサポートとか、周年行事のある学校もあって、たくさんの業務をこなして大変お忙しい中、頑張っていただいておりました。お忙しい分、先生方のチームワークがすばらしくて、かっこいいなと思いました。コロナ禍の中の学校運営ですけれども、今まで訪問したすべての学校は、一つ一つ丁寧にこなしてくださっていると感じました。給食センターの所長さんにお願いと言うか、あるんですけども、ある保護者からの声で、今までフェイスブックに毎日の給食の写真が載っていて、子供と一緒に見て参考にしたり、紙でしか見ることができなかつた給食を見てることができて、良い企画だなと思っていたので、私も知らなくて見てみたんです。お祝いプレートが出た時、パッケージにおめでとうと書いていたり、ひな祭りの時はお雛様とお内裏様の絵が描いてあったりして、こういうのを子供たちは食べているんだなあと、見ることができて、知らなかつたなあと。良い企画だなあと思っていたので、今年度ももしよければ続けてほしいなと声がありました。お忙しいと思うので、通常の業務に差し支えがありましたら、無理にとは言いませんけれども、なければ検討していただけたらありがたいなあと思いました。

### ■給食センター所長

今のお話にあったことについてなんですが、その企画、給食センターの業務ではなく、以前いました所長さんの善意と言うか趣味

と言いますか、180人ほど閲覧数があって、期待されて、ぜひ私に引き継いでくれと言うことでしたけれども、私も含めて、今現在の職員、ちょっとそういう器用なのが中々いなくてですね、対応に苦慮しておりました。いいことは思うんですけども、前向きにとも言いたいところなんんですけど、もう一回相談してはみますけれども、なんせ普段の業務プラスアルファの大変な量だと思うんですよ。聞けば休みもしない、休んでも職員に写真だけ撮って送ってもらって、それにコメントして送ってるという、まあ、すごいことやってきたなという、同じ事を私がやれるかとなれば、ちょっとすごい、こう、ハードルが高いなと言うところも実はございまして、それにしても、やれませんとは言いませんけれども、気持ち、ちょっと検討しますということでよろしくお願ひします。

### ■本江委員

まずは中体連、無事終えたって感じがいたします。子供たちの参加する選手だけじゃなくて、応援の子供たちが動けたってことが非常に大きかったです。何よりも中学生にとって中体連は非常に大きな学ぶ場であるので、それを自分を他の子たちに見てもらう、発表する場でもあるので、非常に子供たちにとって大事な、今の3年生はやっと体験できることなんですね。これが非常に大きかったなあと思っております。新人戦も何とか無事にできるよう願いたいなあと思っております。また、修学旅行とか他の行事も十分計画が元にちょっとずつ近づいてきてるということで、非常に子供たちにとって学校生活に別な希望が出てるんじゃないかなと思ってます。ありがたいなと思ってます。学校訪問をして見てて、学校がスムーズに一学期流れてると感じがしてました。学校の方から色々な要望があるかと思います。普通に活動が始まれば、委員会さんの方には色々な要望が来るかと思いますが、何とか、一つ

かなえていただければなと思います。よろしくお願ひいたします。以上です。

### ■黒沢委員

学校訪問についてですけれども、これまで説明のいただいた学校につきまして、特に特別支援に関しての取り組みが充実してきているなあと感じました。私自身、特別支援を要する子供に対する教育は通常学級の子供、一人ひとりを理解するために必要なスキルだと思っておりますので、特別支援に在籍しているかしないかと言うことではなく、学校としては、これまでつかってきたものやこれから学びに向かっていく姿勢をさらに一人ひとりの子供、全ての子供を理解する、そのスキルとして広めていただけたらなあというふうに思っております。一人ひとりをやはり、とりこぼすことがない、SDGsでもありますけれども、そうした視点で今後はまた三沢の教育も育っていくんだなあという期待を込めて話を伺っておりました。併せて、わくわくサマーゼミナールなど、コロナの中でこれだけ盛りだくさんのプログラムで設定していただけたことは大変うれしい限りでございます。参加されている方のアンケートでもとても良かったという評価をいただいていることは、それもとてもうれしいことだと思います。今回の多分対象となる子たちは、さらに学びたい子供たちとすることなのかも知れません。なので、学びをあきらめてる子供たち、やはり、家庭の事情によって子供たちと言うのは特に中学生になってくると、どうせ自分はという気持ち、その気持ちで自ら持てる力を發揮することをあきらめてしまっている子供たちがもしいるとするならば、そう言った子たちにも、たとえば、参加できる環境があって、たった一回の参加でも道が開けることを体験できるような、併せてそういったこともできたらいいなあと思いながら、だからどうしてもやっぱりその場所に行くことができないとか、単純に

交通手段でありますとか、あとはお手紙を渡すときに子供だけでも申し込むことができるものなのか、保護者に渡した後にただの紙になってしまふようなことがなく、なので、三沢市でこれだけ丁寧に丁寧に構えてるプログラムなので、先生方から子供たちに手渡すときに、どのように手渡してるかというところも少しお声がけいただきて、本当にこのプログラムが子どもたちにしっかりと伝わるようなものであって欲しいなあと思い、今後の期待を込めてのお願いです。以上です。

### ■立花委員

学校訪問、とりあえず今4校終わったんですけども、その中で特に印象に残っているのが一つありますと、と言うのは、たくさんの支援員の方が配属になっております。昨年度までお話を聞いてると、中々担任の先生なり、いろんな打ち合わせをする時間がないというような話を伺って、昨年度までですね。三沢小学校の江渡校長先生が、一人ずつでもきちんと面談して、色々な要望なりね、お願いなり、そういう面談をしていると。併せて先生方も支援員さんの時間とかね、そういうのを意外と先生方も知らないでいる方も多いと。ということで、時間がないのはわかりますけれど、担任じゃなくとも、特に校長先生、もし時間があればですね、校長先生が面談して、その後職員会議の中で、ああだこうだと説明して、代弁してあげてもいいのかなあと、非常にこう、それはいいことだなど。担任の先生だけじゃなくて、もし忙しかったら、校長先生が代わりに、とにかく面談、一気にみんなやるんじゃなくて、まず一人でも、空いた時間を利用して、というふうにしてるというので、非常にこう、より支援員さんを有効活用ができる一つの手段なのかなあというふうに感じましたので、まだこれから、あと8校ですか、回りますけども、その辺、あと各校確認しながら、いいことはみんなに広げていった

ほうがいいのかなと非常に感じました。とりあえずその一点ですね。

---

### ○閉会

### ■山内教育長

それでは、ここで暫時休憩をして、非公開審議のため別室審議といたしたいと思いますが、その前にですね、7月定例会の日程でございますが、7月29日、金曜日、午後2時に開催したいと考えておりますが、いかがでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

それでは7月定例会は7月29日、金曜日、午後2時からといたしますので、よろしくお願ひいたします。

---

閉会 15時40分

### ■会議録署名者

教育委員 本江 宏

教育委員 松森 まゆみ

書記 和久 美登里